

## KUCA大学院生実験参加者アンケート（実験前）

1. 名前、番号、所属、研究室名、
2. 学部、大学院での研究課題（具体的に決まっていない場合は希望する研究課題）
3. 大学院生の場合 卒業学部等
  - a. 同じ研究室
  - b. 同じ大学の違う研究室（卒論研究課題：  
）
  - c. 違う大学（卒論研究課題：  
）
4. この学生実験に参加した理由
  - a. 自ら希望して
  - b. 教官、先輩などに勧められて
  - c. 仕方が無く
  - d. その他（  
）
5. 放射線に関する知識は
  - a. 講義を受け、卒業研究等で利用している（or していた）
  - b. 講義を受け、ある程度知っている
  - c. 講義は受けたがよくわからない
  - d. わからない
6. 炉物理に関する知識は
  - a. 講義を受け、卒業研究等で研究している（or していた）
  - b. 講義を受け、ある程度知っている
  - c. 講義は受けたがよくわからない
  - d. わからない
7. この学生実験に期待すること（いくつでも）
  - a. 原子炉についての理解を深めたい
  - b. 炉物理についての理解を深めたい
  - c. 放射線についての理解を深めたい
  - d. 臨界について知りたい
  - e. 制御棒について知りたい
  - f. 中性子を測定してみたい
  - g. 原子炉を運転してみたい
  - h. ウラン燃料を触ってみたい
  - i. 原子炉の安全性について知りたい
  - j. 他大学の院生の人と交流をしたい
  - k. 単位が欲しい
  - l. 早く終わって欲しい
  - m. その他（なんでも結構です）

## KUCA大学院生実験参加者アンケート（実験後）

1. 名前（無記名でも結構です）

2. この原子炉基礎実験に参加して良かったこと（いくつでも）

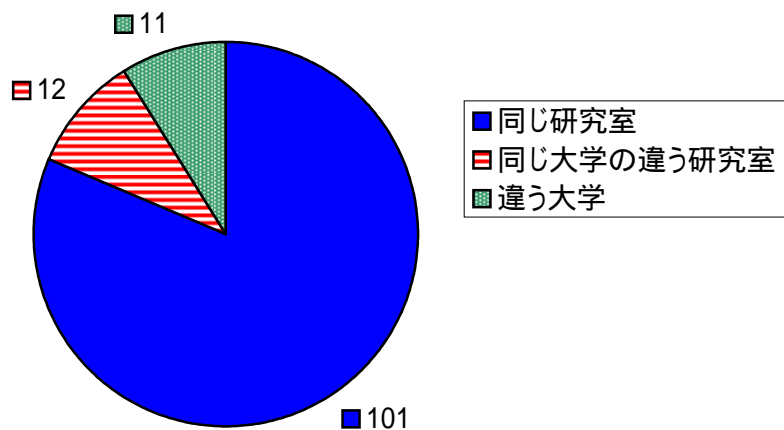
- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| a. 原子炉についての理解が深まった   | b. 炉物理についての理解が深まった |
| c. 放射線についての理解が深まった   | d. 臨界についてわかった      |
| e. 制御棒についてわかった       | f. 中性子の測定がわかった     |
| g. 原子炉を運転したこと        | h. ウラン燃料を触ったこと     |
| i. 原子炉の安全性についてわかった   | j. 他研究室の学生と交流したこと  |
| k. 単位がもらえそうなこと       | l. 思ったより早く終わったこと   |
| m. KUR でチェレンコフ光を見たこと | n. スクラムを見ることができたこと |
| o. その他（なんでも結構です）     |                    |

3. この原子炉基礎実験に参加して良くなかったこと（いくつでも）

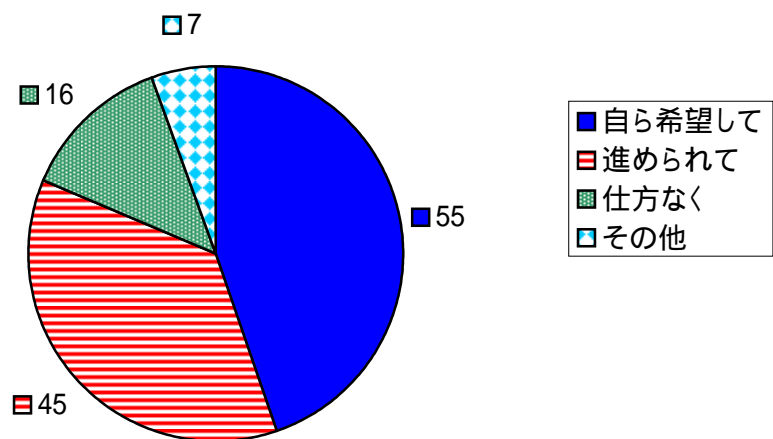
- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| a. 原子炉についてもっと知りたかった | b. 炉物理についてもっと知りたかった |
| c. 放射線についてもっと知りたかった | d. 臨界についてもっと知りたかった  |
| e. 制御棒についてもっと知りたかった | f. 中性子の測定をもっと知りたかった |
| g. 原子炉をもっと運転したかった   | h. ウラン燃料をもっと触りたかった  |
| i. 原子炉の安全性がわからなかった  | j. 他研究室の学生と交流したこと   |
| k. 興味がわかなかった        | l. 実験期間が長い          |
| m. その他（なんでも結構です）    |                     |

2012年度 KUCA大学院生実験  
実験前アンケート結果(参加者:132名)

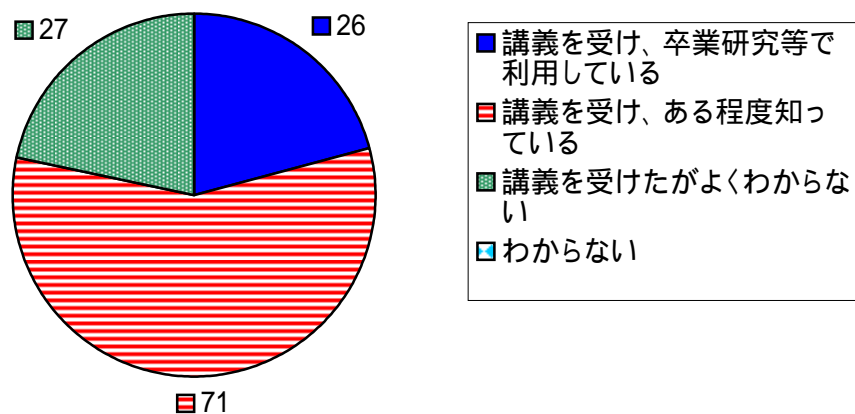
総集計:卒業学部研究室



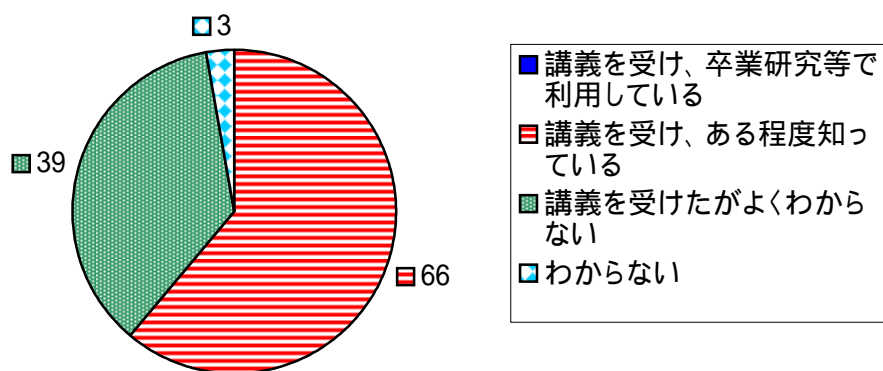
総集計:参加理由



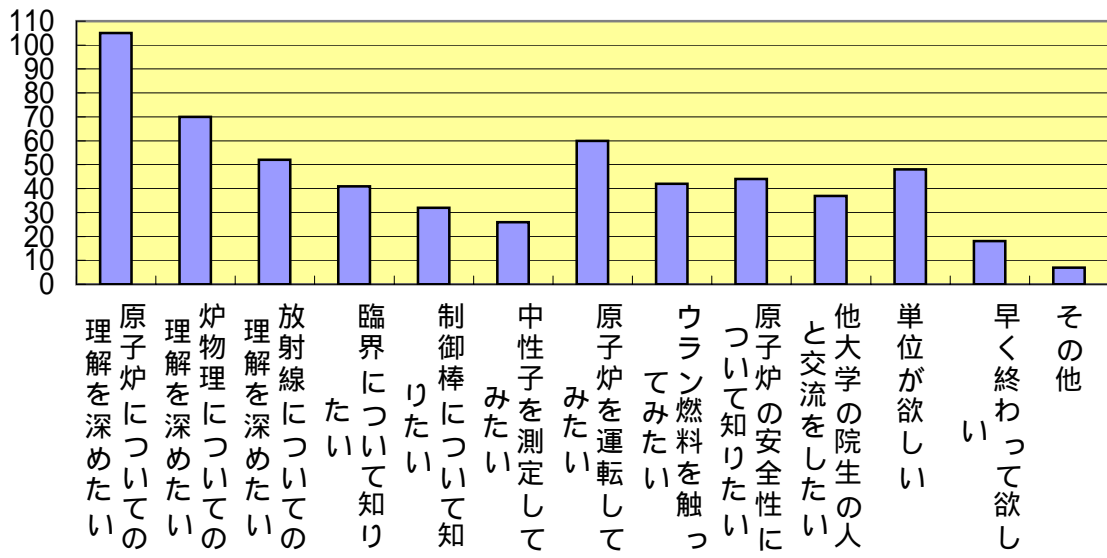
### 総集計:放射線について



### 総集計:炉物理について

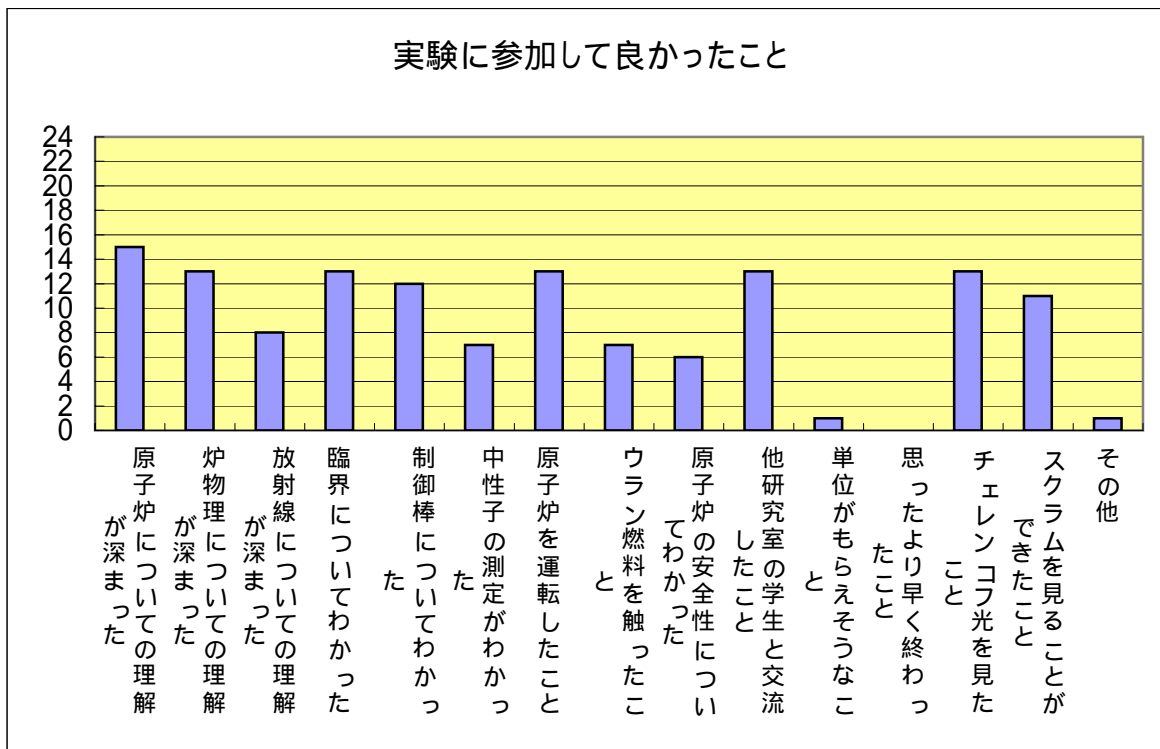


### 総集計:実験への期待



研究室(専門分野)については、現在集計作業中のため、近日中に公開いたします。

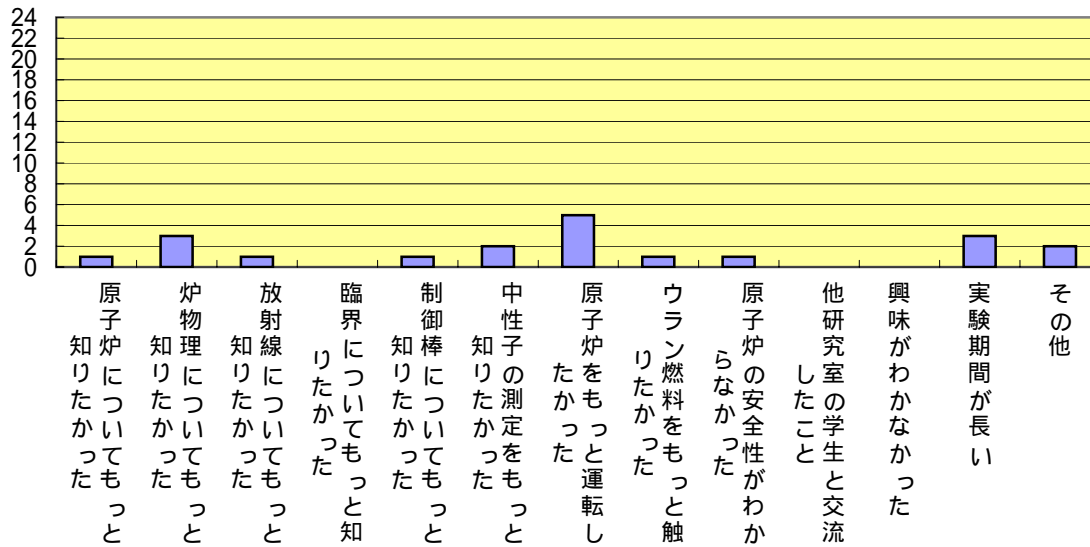
## 実験後アンケート結果(複数回答)



その他の項目：

劣化ウランを持ち上げたこと  
 自身の知識の少なさを実感したこと  
 自分の勉強不足を感じた点。  
 KURでチェレンコフ光をみられなかったのが残念...  
 温度係数の解説  
 世界が変わったこと。  
 炉を実際に動かしている方々と話したこと  
 世界が変わったこと。  
 臨界で世界が変わること。  
 世界が変わったこと。変わったこと。Change the world!!

## 実験に参加して良くなかったこと



その他の項目:

実験をもっと自分の手でやりたかった  
 レポートをやる時間が少なかった  
 単位がもらえそうにないこと  
 レポートの量と日程が合っていない  
 レポートの量が徹夜をしないといけないような日程ではダメだと思う  
 初期の知識が乏しいため理解にはなかなかたどりつかなかった  
 レポート考察の時間がもっと欲しかった  
 天然ウランを持ったら腰をいためてしまった  
 KURでチェレンコフ光が見ることができなかった  
 考察の時間がもっと欲しいです  
 講義した部屋や共同スペースに何か炉物理の教科書があれば良かった  
 アンケートは無記名がいいと思います  
 睡眠時間が少なくなりがち  
 レポート期限が短い  
 折角京都に来たのに全く観光できなかった  
 打ち上げがない...  
 特にないです  
 KURの見学が出来なくて残念だった  
 討論会で議論にあまり参加できなかった  
 データ処理とレポート作成の時間がみじかすぎる  
 課題が多く考える事ができなかった  
 (作業効率が悪い自分が原因かもしれないですが)  
 時間に余裕が欲しい  
 事前に基礎知識があればもっと他大の学生と議論しより理解がふかめられ  
 のではと思うと少し悔やまれます。  
 勉強が難しかった  
 部屋がせまく、作業しにくい  
 フトンがジメジメだったこと  
 データ整理が大変(自分のせいですが)  
 たまに邪魔が入って聞きたくない話を聞かされてレポートが捗りませんでした  
 実験内容はとても充実していて楽しかったが、レポートが大変で自分の中で  
 十分に吟味できなかった  
 あとでゆっくり考察します  
 こなさなければならぬことが多いよ...  
 実験期間が短い  
 ペリオド法が1回しかなかったので、落下法との比較ができなかった

金ばくの測定がなかったので中性子束分布を求められなかった  
(検出器効率も)  
レポートが大変だった  
みんなで楽しく課題をやっている時に時々ジャマが入って作業が進まない  
か余計なつかれを得てしまったこと  
早ね早起きが出来た  
グループメンバーもう少しがんばってほしかった  
余裕が無さすぎた  
レポートを仕上げる時間が短い  
CAの起動や停止操作も見学あるいは体験したかった  
定検期間が短い  
自分で考えてレポートを書こうとすると時間が足りない  
昼ごはん、おかずが冷えてる